

魅力的な建物や
地域のシンボルとなる景観

優れた建物やモニュメントは、地域を特徴づける要素になります。新しいものは、そのかわいに未来へ向かって伸びゆくエネルギーを与え、歴史あるものは、かわいに伝統ある格式をもたらします。どちらも住民や利用者に愛され、親しまれることで、その地域のシンボルとなっています。

パノラマプール十条台

① H-6



ガラス張りの開閉式ドーム屋根がある温水プールです。陽射しにキラキラと輝き、透明感あふれる建物で、その曲線によるデザインも印象的です。

区民の声 「一年中泳げるので、利用者にたいへん好評です。建物もそうですが、水もきれいで、十条台小学校の生徒がうらやましいです」
(プールインストラクター：岸町2丁目在住・27歳男性)

所 北区中十条1-5-6(十条台小学校内)

問 十条台小学校温水プール管理事務所
TEL. 03(5993)8337

入 午前9時～午後9時(一般の方は学校使用時間以外で利用できます。毎月第3日曜日/年末年始休館)
入場料(2時間) 大人:400円 子供:100円

赤羽カトリック教会

③ F-3



昭和26年に建設された、とがった屋根に特色があるゴシック調の教会です。エキゾチックなムードが漂う風格のある建物は、商業地の中にありながらも街に溶け込み、人々の心を和ませてくれます。

区民の声 「さまざまな催しが行われ、いつも楽しく参加しています。教会の中は、大きくて立派な祭壇があり、ステンドグラスを通して差し込む光もカラフルでとてもきれいです」

(隣接する幼稚園の園児のお母さん:赤羽南1丁目在住・20代女性)

所 北区赤羽2-1-12

問 赤羽カトリック教会
TEL. 03(3901)2902

赤羽西口駅前の七福神

4 F-3



北 北区赤羽西1-6先

赤羽西口駅前地区の繁栄を願って、近くにある弁財天にちなみ、平成7年に設置されました。アメリカ人彫刻家の作品で、既成の七福神とは一風変わったデザインになっています。

区民の声 「素材が落ち着きのある色合いで、赤羽西口のシンボルになるといいと思います。また、付近の案内板にも、七福神にまつわる動物のモニュメントが設置されていて、買い物が楽しくなります」
(会社員:赤羽西1丁目在住・30代男性)

西が丘サッカー場

7 D-5



北 北区西が丘3-15-1

問 国立スポーツ科学センター
TEL. 03 (5963) 0203

入 サッカー観戦の際は入場できます。(有料の場合が多い)

夜間用の大きな照明塔や、手入れが行き届き青々とした美しい芝生が印象的です。J2リーグ、関東大学リーグ、高校サッカー選手権などが開催されます。

区民の声 「このように設備の整ったサッカー場が北区にあって、サッカーをやっている自分たちにはとても嬉しい。頑張って、ここでプレーできるようにになりたい」
(中学生:田端新町1丁目在住・男子)

小山酒造

5 F-2



上記の建築物については、既に取り壊されております。

創業明治11年の造り酒屋です。良質の伏流水を使用し、本格的な寒造りによる清酒は、「丸真正宗」の名で多くの人々に愛されています。また、建物の外観からも、伝統ある老舗といった感じが漂います。

区民の声 「23区内で唯一の造り酒屋が北区にあるということを、区民として誇りに思います。いつまでも変わらずにあってほしいものです」
(会社員:王子1丁目在住・50歳男性)

春駒交通株式会社の建物

8 B-3



北 北区浮間5-11-15

入 建物内には一般の方は立ち入りできません。

平成4年に竣工したこの建物は、明治・大正期の洋風建築を彷彿させ、特に入口の柱はギリシャ神殿のような重厚感があります。会社は、昭和30年から北区に本社を構え、タクシー業などを行っています。

区民の声 「オフィスというと機能重視型になってしまいがちですが、お客さんや近隣の方々のことも考えて、格調高いデザイン建物を目指しました」(春駒交通株式会社社員・男性)

星美学園のマリア像

6 E-2



北 北区赤羽台4-2-14

入 校内には一般の方は立ち入りできません。

赤羽台の崖線沿いの校舎の屋上にあるこの像は、昭和35年に、イタリアから取り寄せられたものです。両手を広げ赤羽のまちを見守る姿からは、とても優しい感じを受けます。夜はライトアップされ、頭の周囲を囲む星が美しく輝きます。

区民の声 「電車で荒川を渡って来るときは、ちょうど北区の玄関口に立っていて、いつも暖かく出迎えてくれるようで大好きです」
(会社員:北区内在勤・20代女性)

旧醸造試験所のレンガ造りの建物

9 I-7



北 北区滝野川2-6

入 敷地内には一般の方は立ち入りできません。

明治37年建設で、当時の洋風建築の趣を残すレンガ造りの建物です。醸造試験所は、醸造酒の製造技術の開発や市販酒の鑑定を行う機関でしたが、平成7年、広島に移転になりました。

区民の声 「湿度調整を行う黒カビが、アルコールを食べて貯蔵庫の壁一面に繁殖していますが、他の場所ではなかなか育たない貴重なものです。建物が保存されることになり、よかったです」
(かつて当施設に勤務していた、豊島1丁目在住・60代男性)

旧三菱銀行滝野川支店の建物 (旧東京霞ヶ関信用組合の建物)

⑩ H-9



上記の建築物については、既に取り壊されておりません。

古典主義調で、格式を感じさせるデザインの建物です。また、少々くすんだ白い壁の色も歴史を感じさせます。大正3年に建設されました。

区民の声 「初めて見たときは、博物館か美術館かと思いました。とてもおしゃれな建物なので、整備してずっと残してほしいと思います」
(会社員:滝野川17丁目在住・20代女性)

東日本旅客鉄道株式会社東京支社ビル

⑫ M-8



㉒ 北区東田端2-20-68

㉓ 建物内には一般の方は立ち入りできません。

平成6年竣工のスケールが大きなオフィスビルです。ガラス張りの窓が洗練された感じを与える現代的な造りになっています。ここでは、東京23区及び埼玉、千葉、栃木の一部のJR線を管轄しています。

区民の声 「建物が陽射しにキラキラ光る姿がとてもきれいです。ガラス窓が鏡みたいに反射して、青空を映したりするようすがおもしろいです」
(高校生:田端5丁目在住・女子)

せいえんぶんこ

青淵文庫 (渋沢史料館)

⑪ J-8



㉒ 北区西ヶ原2-16-1

㉓ 一般公開も行ってありますが、公開時期等については下記までお問い合わせください。

※渋沢栄一に関する資料は飛鳥山3つの博物館の渋沢史料館に展示されていますが、青淵文庫は渋沢史料館の一部となっています。

㉔ 渋沢史料館
TEL. 03(3910)0005

大正14年に、渋沢栄一邸内に竣工。渋沢はここで賓客をもてなしました。外壁を覆う伊豆の月出石、正面窓のステンドグラス、柏をデザインしたタイルなど気品あふれる洋風建築です。

区民の声 「上品なたたずまいが感じられ、かつて、財界人や政治家の人たちでにぎわっていたようすがしのぼれます」
(主婦:滝野川13丁目在住・50代女性)

女子聖学院礼拝堂

⑬ L-9



㉒ 北区中里3-12-2

㉓ 校内には一般の方は立ち入りできません。

ミッションスクールである女子聖学院にふさわしく、神聖さを感じさせる美しい建物で、中には収容人員800名の礼拝堂・講堂があります。教会が現代建築としてうまく表現された外観になっています。

区民の声 「学校に入学して、こんなきれいな礼拝堂があっけびびっくりしました。とても厳かな雰囲気の中で礼拝に参加していました」
(女子聖学院卒業生:赤羽1丁目在住・20代女性)

滝野川会館

⑭ K-8



㉒ 北区西ヶ原1-23-3

㉔ 滝野川会館管理事務所
TEL. 03(3910)1651

㉓ 午前9時～午後10時(年末年始休館)

集会室、ホール、区民事務所、文化センター、図書館、音楽スタジオなどを備えた北区の複合施設です。円筒状にデザインされたガラス張りの外観が印象的で、また、重厚な石張りの外壁が美しい建物です。

区民の声 「円筒部の下には、吹き抜けになっているきれいな階段状のスペースがあります。気分がいいのでいつもここに来て、友達と話したりしています」
(専門学校生:北区在学・20歳男性)

田端文士村記念館

19 M-9



北区に住んでいた文士・芸術家たちの活躍を伝える貴重な文献・書簡・記録などが展示された記念館です。円形のユニークな形の外観が人々の目を引きま

名所の声 「芥川龍之介、室生犀星、堀辰雄のことなどが、とてもわかりやすく展示されています。座ってビデオも見られますとても面白い場所です」
(中学生・田端2丁目在住・男子)

- 〒 北区田端6-1-2
- ☎ 田端文士村記念館
TEL. 03(5685)5171
- 🕒 午前10時～午後5時(入館無料)
(毎週月曜日/祝日の翌日/年末年始休館)

東京ゲーテ記念館

17 J-8



18世紀のドイツ建築をモデルにしたという白い美しい壁と大きな構えの入口が印象的な建物です。ドイツの文豪ゲーテの著作や関連資料など約15万点を有し、一般に公開しています。

名所の声 「建物やゲーテの小道は、ゲーテの祖国ドイツの街並みさながらの感じがします。芸術性あふれる上品な感じが漂ってきます」
(会社員・西ヶ原3丁目在住・50代男性)

- 〒 北区西ヶ原2-30-1
- ☎ 東京ゲーテ記念館
TEL. 03(3918)0828
- 🕒 午前11時～午後5時30分(入館無料)
(毎週日・月曜日/祝日休館) ※展示開催期間は、4月～6月及び8月28日～12月中旬です。

東書文庫

18 J-7



昭和11年に、東京書籍株式会社が設立した教科書の図書館で、黄土色のレンガ造りの建物が、優美な景観をつくりあげています。藩校や寺小屋で使われていたものから、最新のものまで約14万5千点の蔵書があります。

名所の声 「ツバキ、ツツジ、梅、ハナミズキ、モクレンに大きなタイサンボクなどが絶妙なバランスで配置されている庭もたいへん素敵です」
(東書文庫に勤務している女性職員)

- 〒 北区栄町48-23
- ☎ 東書文庫
TEL. 03(3927)3680
- 🕒 午前10時～午後4時30分
(入場及び資料の閲覧は無料)
(毎週土・日曜日/祝日・年末年始等休館)

